

令和 2 年 度

岡山県後期高齢者医療広域連合

一般会計 歳入歳出決算審査意見書  
特別会計

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員

# 目 次

## 各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象 .....	1
第2 審査の期日 .....	1
第3 審査の方法 .....	1
第4 審査の結果 .....	1
1 決算の総括 .....	2
(1) 決算規模 .....	2
(2) 決算収支 .....	3
2 一般会計 .....	4
(1) 歳入 .....	5
(2) 歳出 .....	6
3 後期高齢者医療特別会計 .....	8
(1) 歳入 .....	9
(2) 歳出 .....	14
4 財産に関する調書 .....	17
5 むすび .....	18

(注) 文中の比率、各表の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。  
このため計数が一致しない場合がある。

# 令和2年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

## 第1 審査の対象

令和2年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

令和2年度岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  
(決算附属書類)

令和2年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

令和2年度各会計実質収支に関する調書

令和2年度財産に関する調書

## 第2 審査の期日

令和3年6月25日

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、令和2年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を会計管理者所管の関係諸帳簿及び証拠書類と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、例月出納検査及び定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、その適否について審査した。

## 第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認めた。

また、予算執行では、歳入の一部に収入未済や不納欠損となっているものがあつたが、適正に執行されていると認めた。

なお、各会計の決算状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

# 1 決算の総括

## (1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算額は

歳入	2,797億3,872万7,550円	(予算現額に対する収入歩合	100.00%)
一般会計	7,222万5,235円	(同)	100.00%)
特別会計	2,796億6,650万2,315円	(同)	100.00%)
歳出	2,796億7,574万3,833円	(予算現額に対する執行率	99.98%)
一般会計	6,902万1,228円	(同)	95.56%)
特別会計	2,796億672万2,605円	(同)	99.98%)
歳入歳出差引額	6,298万3,717円		
一般会計	320万4,007円		
特別会計	5,977万9,710円		

となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

### 決算規模の推移

年度	歳入		歳出	
	決算額	対前年度 増、減(△)額	決算額	対前年度 増、減(△)額
H30	275,640,387,240円	1,738,436,038円	275,612,299,186円	1,810,044,341円
R元	282,182,455,691円	6,542,068,451円	282,171,622,338円	6,559,323,152円
R2	279,738,727,550円	△2,443,728,141円	279,675,743,833円	△2,495,878,505円

(2) 決算収支

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 6,298 万 3,717 円の余剰金が生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

決算収支の推移

区 分		令和2年度 円	令和元年度 円	平成30年度 円
歳入総額 A	一般会計	72,225,235	75,032,642	77,000,429
	特別会計	279,666,502,315	282,107,423,049	275,563,386,811
	計	279,738,727,550	282,182,455,691	275,640,387,240
歳出総額 B	一般会計	69,021,228	74,419,516	76,981,856
	特別会計	279,606,722,605	282,097,202,822	275,535,317,330
	計	279,675,743,833	282,171,622,338	275,612,299,186
歳入歳出差引額 (A-B) C	一般会計	3,204,007	613,126	18,573
	特別会計	59,779,710	10,220,227	28,069,481
	計	62,983,717	10,833,353	28,088,054
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	一般会計	0	0	0
	特別会計	0	0	0
	計	0	0	0
実質収支 (C-D) E	一般会計	3,204,007	613,126	18,573
	特別会計	59,779,710	10,220,227	28,069,481
	計	62,983,717	10,833,353	28,088,054
単年度収支 E-前年度のE	一般会計	2,590,881	594,553	△272,419
	特別会計	49,559,483	△17,849,254	△71,335,884
	計	52,150,364	△17,254,701	△71,608,303

## 2 一般会計

一般会計の決算額は、歳入 7,222 万 5,235 円(予算現額に対する収入歩合 100.00%)、歳出 6,902 万 1,228 円(予算現額に対する執行率 95.56%)、歳入歳出差引額 320 万 4,007 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

### 一般会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
R元	75,032,642円	△1,967,787円	74,419,516円	△2,562,340円
R2	72,225,235円	△2,807,407円	69,021,228円	△5,398,288円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 320 万 4,007 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

### 一般会計決算収支の推移

区 分	令和2年度	令和元年度
歳入総額 A	72,225,235円	75,032,642円
歳出総額 B	69,021,228円	74,419,516円
歳入歳出差引額 (A-B) C	3,204,007円	613,126円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	3,204,007円	613,126円
単年度収支 E-前年度のE	2,590,881円	594,553円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

一 般 会 計 歳 入 決 算 状 況

区 分		令和2年度 A	令和元年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		72,225,000円	77,064,000円	△4,839,000円
調 定 額		72,225,235円	75,032,642円	△2,807,407円
収 入 済 額	金 額	72,225,235円	75,032,642円	△2,807,407円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.00%	97.36%	2.64%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		0円	0円	0円
不 納 欠 損 額		0円	0円	0円

収入済額は7,222万5,235円で、前年度に比べ280万7,407円減少している。  
 予算現額7,222万5,000円に対する収入歩合は100.00%で、前年度に比べ2.64  
 ポイント増加となっている。  
 調定額に対する収納率は100.00%で、前年度と同率となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	令和2年度					令和元年度 収入済額 D 円	増、減(△) C-D 円
	予算現額 A 円	調定額 B	収入済額 C 円	収入歩合 C/A %	収入未済額 B-C 円		
分担金及び負担金	71,600,000	71,600,000	71,600,000	100.00	0	75,000,000	△3,400,000
財 産 収 入	4,000	3,427	3,427	85.68	0	4,295	△868
繰 越 金	613,000	613,126	613,126	100.02	0	18,573	594,553
諸 収 入	8,000	8,682	8,682	108.53	0	9,774	△1,092
繰 入 金	0	0	0		0	0	0
合 計	72,225,000	72,225,235	72,225,235	100.00	0	75,032,642	△2,807,407

収入済額は7,222万5,235円で、この主なものは分担金及び負担金である。  
 なお、前年度と比較した主な増減要因については、市町村からの事務費負担金で  
 ある分担金及び負担金340万円の減額、前年度繰越金59万円の増額によるもので  
 ある。

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳出決算状況

区 分		令和2年度 A	令和元年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		72,225,000円	77,064,000円	△4,839,000円
支 出 済 額		69,021,228円	74,419,516円	△5,398,288円
執 行 率		95.56%	96.57%	△1.01%
翌 年 度 繰 越 額	継 続 費 遡 次 繰 越	0円	0円	0円
	繰 越 明 許 費	0円	0円	0円
	事 故 繰 越 し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不 用 額		3,203,772円	2,644,484円	559,288円

支出済額は6,902万1,228円で、前年度に比べ539万8,288円減少している。予算現額7,222万5,000円に対し、95.56%の執行率となっている。

翌年度繰越額は0円である。

また、不用額は320万3,772円で、前年度に比べ55万9,288円の増加となっている。

不用額の主なものは、総務費の職員手当等、役務費、負担金補助及び交付金等で、経費の縮減などによるものである。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

款・項	令和2年度					令和元年度	増、減(△) A - B 円
	予算現額 円	支出済額 A 円	執行率 %	翌年度 繰越額 円	不用額 円	支出済額 B 円	
議会費	1,083,000	770,263	71.12	0	312,737	725,337	44,926
総務費	70,642,000	68,250,965	96.62	0	2,391,035	73,694,179	△ 5,443,214
総務管理費	70,417,000	68,071,017	96.67	0	2,345,983	73,501,449	△ 5,430,432
選挙費	141,000	116,340	82.51	0	24,660	129,058	△ 12,718
監査委員費	84,000	63,608	75.72	0	20,392	63,672	△ 64
予備費	500,000	0	0	0	500,000	0	0
計	72,225,000	69,021,228	95.56	0	3,203,772	74,419,516	△ 5,398,288

議会費の支出済額は77万263円で、前年度に比べ4万4,926円増加している。予算現額108万3,000円に対し、71.12%の執行率となっている。

総務費支出済額は6,825万965円で、前年度に比べ544万3,214円減少している。予算現額7,064万2,000円に対し、96.62%の執行率となっている。

なお、前年度と比較した主な増減要因としては、総務費のうち総務管理費において、派遣職員の人事異動に伴う職員派遣負担金の減少などによるものである。

### 3 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入 2,796 億 6,650 万 2,315 円（予算現額に対する収入歩合 100.00%）、歳出 2,796 億 672 万 2,605 円（予算現額に対する執行率 99.98%）、歳入歳出差引額 5,977 万 9,710 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
R元	282,107,423,049円	6,544,036,238円	282,097,202,822円	6,561,885,492円
R2	279,666,502,315円	△2,440,920,734円	279,606,722,605円	△2,490,480,217円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 5,977 万 9,710 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

後期高齢者医療特別会計決算収支の推移

区 分	令和2年度	令和元年度
歳入総額 A	279,666,502,315円	282,107,423,049円
歳出総額 B	279,606,722,605円	282,097,202,822円
歳入歳出差引額 (A-B) C	59,779,710円	10,220,227円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	59,779,710円	10,220,227円
単年度収支 E-前年度のE	49,559,483円	△17,849,254円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳入決算状況

区 分		令和2年度 A	令和元年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		279,664,555,000円	282,107,725,000円	△2,443,170,000円
調 定 額		279,679,718,277円	282,113,344,185円	△2,433,625,908円
収 入 済 額	金 額	279,666,502,315円	282,107,423,049円	△2,440,920,734円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.00%	100.00%	0.00%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		12,129,542円	4,915,847円	7,213,695円
不 納 欠 損 額		1,086,420円	1,005,289円	81,131円

収入済額は2,796億6,650万2,315円で、前年度に比べ24億4,092万734円減少している。

予算現額2,796億6,455万5,000円に対する収入歩合は100.00%で、前年度と同率である。調定額に対する収納率は100.00%となっており、収入未済額は、前年度に比べ721万3,695円増加している。なお、不納欠損額108万6,420円で、前年度に比べ8万1,131円増加している。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	令和2年度						令和元年度	増、減(△) C-E
	予算現額 A 円	調定額 B 円	収入済額 C 円	収入歩合 C/A %	不納欠損額 D 円	収入未済額 B-C-D 円	収入済額 E 円	
市 町 村 支 出 金	48,676,791,000	48,678,388,644	48,678,388,644	100.00	0	0	47,597,463,222	1,080,925,422
うち保険料等負担金	25,986,361,000	25,987,959,349	25,987,959,349	100.01	0	0	25,107,569,004	880,390,345
うち療養給付費負担金	21,990,430,000	21,990,429,295	21,990,429,295	100.00	0	0	21,839,894,218	150,535,077
国 庫 支 出 金	95,128,942,000	95,128,943,554	95,128,943,554	100.00	0	0	93,480,225,636	1,648,717,918
うち療養給付費等負担金	68,923,075,000	68,923,075,094	68,923,075,094	100.00	0	0	67,369,049,663	1,554,025,431
うち高額医療費負担金	1,389,474,000	1,389,474,995	1,389,474,995	100.00	0	0	1,321,691,783	67,783,212
県 支 出 金	22,641,605,000	22,641,605,895	22,641,605,895	100.00	0	0	22,905,049,974	△263,444,079
うち療養給付費等負担金	21,213,847,000	21,213,847,574	21,213,847,574	100.00	0	0	21,544,870,191	△331,022,617
うち高額医療費負担金	1,389,269,000	1,389,269,321	1,389,269,321	100.00	0	0	1,321,691,783	67,577,538
支 払 基 金 交 付 金	107,268,002,000	107,268,002,000	107,268,002,000	100.00	0	0	110,161,218,000	△2,893,216,000
特別高額医療費共同 事業交付金	110,656,000	110,656,866	110,656,866	100.00	0	0	85,320,155	25,336,711
財 産 収 入	3,158,000	3,157,194	3,157,194	99.97	0	0	3,849,825	△692,631
繰 入 金	5,297,879,000	5,297,816,351	5,297,816,351	100.00	0	0	7,330,418,806	△2,032,602,455
繰 越 金	10,221,000	10,220,227	10,220,227	99.99	0	0	28,069,481	△17,849,254
諸 収 入	527,301,000	540,927,546	527,711,584	100.08	1,086,420	12,129,542	515,807,950	11,903,634
計	279,664,555,000	279,679,718,277	279,666,502,315	100.00	1,086,420	12,129,542	282,107,423,049	△2,440,920,734

前年度と比較した主な増減については、均等割額の軽減割合の変更等に伴う保険料等負担金の増額により、市町村支出金が10億8,092万5,422円、対象経費となる保険給付費等の増加を見込んでいたことに伴い、国庫支出金が16億4,871万7,918円とそれぞれ増加したのに対して、支払基金交付金が28億9,321万6,000円、後期高齢者医療給付費準備基金繰入金が20億3,260万2,455円の減額となっている。

なお、国・県・市町村の支出金及び支払基金交付金については、実績額に応じて、翌年度に精算を行うこととなっている。

保険料等負担金の内訳は次表のとおりである。

保険料等負担金内訳の状況

年度	保険料 円	延滞金 円	基盤安定分 円	計 円
H29	19,269,331,765	3,750,889	5,400,201,020	24,673,283,674
H30	18,977,645,773	3,177,636	5,236,007,843	24,216,831,252
R元	19,906,730,526	3,759,234	5,197,079,244	25,107,569,004
R2	20,640,752,307	3,748,337	5,343,458,705	25,987,959,349
R元-R2増減	734,021,781	△ 10,897	146,379,461	880,390,345

保険料等負担金は259億8,795万9,349円で、前年度に比べ8億8,039万345円の増加となっている。保険料率は前年度と同率・同額であるが、均等割額の軽減割合の変更や被保険者数の増加に伴い、現年度分保険料収入が増加したことによるものである。

保険料収入と被保険者数の状況は次表のとおりである。

保険料収入と被保険者数等の状況

年度	保険料収入 A 円	年間平均 被保険者数 B 人	年間平均 被保険者数 前年度対比 人	1人当たり 保険料収入	
				$\frac{A}{B}$ 円	前年度対比 円
H29	19,269,331,765	281,606	6,512	68,427	2,006
H30	18,977,645,773	287,535	5,929	66,001	△ 2,426
R元	19,906,730,526	293,938	6,403	67,724	1,723
R2	20,640,752,307	297,093	3,155	69,476	1,752

保険料収入は206億4,075万2,307円で、前年度に比べ7億3,402万1,781円の増加となっている。

年間平均被保険者数は29万7,093人で、前年度に比べ3,155人の増加となっている。

1人当たりの保険料収入は6万9,476円で、前年度に比べ1,752円増加となっている。

保険料等負担金については、市町村が広域連合に納付すべき額を調定しているため調定額に対する収納率は100.00%となっている。保険料については、12、13ページの表のとおり市町村における調定額207億8,820万965円に対し、収納額は206億4,021万1,676円となっている。収納率については、現年分が99.63%で、前年度に比べ0.1ポイント上昇し、滞納繰越分が43.07%で、前年度に比べ4.28ポイント上昇し、合計では99.14%で、前年度に比べ0.16ポイント上昇している。不納欠損額については2,502万1,702円となっている。広域連合の保険料収入と市町村における収納額が異なるのは、広域連合への納付が翌月以降となるため、会計年度のずれにより生じるものである。

保険料の収納率向上は、財政の健全化において極めて重要であり、不納欠損処分は被保険者の不公平感を生み出す要因でもあることから、収納対策実施計画に基づき、市町村と連携を図りながら、積極的かつ効果的な収納対策に取り組まれるよう要望する。

また、諸収入において、一部負担金の負担割合に係る差額請求等における収入未済額が1,212万9,542円生じている。負担の公平性を確保する観点からも、収入未済額の早期解消に努められたい。

【参考】 令和2年度 各市町村保険料収納状況

市町村名		調定額 A 円	収納額 B 円	還付未済額 C 円	収入未済額 A-(B-C) 円	収納率 (B-C)/A %	不納欠損額 円
岡山市	現年分	7,608,638,600	7,585,144,776	10,347,560	33,841,384	99.55	38,800
	滞納繰越分	85,449,970	36,532,985	399,099	49,316,084	42.28	11,996,490
	合計	7,694,088,570	7,621,677,761	10,746,659	83,157,468	98.91	12,035,290
倉敷市	現年分	5,039,009,000	5,025,739,030	3,102,400	16,372,370	99.67	0
	滞納繰越分	40,426,385	18,163,865	24,400	22,286,920	44.87	5,779,862
	合計	5,079,435,385	5,043,902,895	3,126,800	38,659,290	99.23	5,779,862
津山市	現年分	962,230,200	960,093,379	1,020,900	3,157,721	99.67	0
	滞納繰越分	8,327,340	3,218,110	0	5,109,230	38.64	1,167,000
	合計	970,557,540	963,311,489	1,020,900	8,266,951	99.14	1,167,000
玉野市	現年分	807,374,300	806,752,180	899,000	1,521,120	99.81	0
	滞納繰越分	7,262,198	3,173,889	0	4,088,309	43.70	1,204,100
	合計	814,636,498	809,926,069	899,000	5,609,429	99.31	1,204,100
笠岡市	現年分	552,958,500	552,626,050	1,055,500	1,387,950	99.74	0
	滞納繰越分	3,701,311	2,315,735	0	1,385,576	62.56	151,600
	合計	556,659,811	554,941,785	1,055,500	2,773,526	99.50	151,600
井原市	現年分	454,178,800	452,717,300	166,500	1,628,000	99.64	0
	滞納繰越分	3,537,174	1,122,300	0	2,414,874	31.72	925,850
	合計	457,715,974	453,839,600	166,500	4,042,874	99.11	925,850
総社市	現年分	694,903,100	693,209,100	2,020,500	3,714,500	99.46	0
	滞納繰越分	6,774,450	1,849,350	11,600	4,936,700	27.12	1,135,850
	合計	701,677,550	695,058,450	2,032,100	8,651,200	98.76	1,135,850
高梁市	現年分	354,805,000	354,448,500	1,600,200	1,956,700	99.44	0
	滞納繰越分	2,846,840	1,179,140	1,000	1,668,700	41.38	0
	合計	357,651,840	355,627,640	1,601,200	3,625,400	98.98	0
新見市	現年分	357,141,400	357,566,900	1,921,600	1,496,100	99.58	0
	滞納繰越分	4,514,400	1,988,700	0	2,525,700	44.05	1,305,700
	合計	361,655,800	359,555,600	1,921,600	4,021,800	98.88	1,305,700
備前市	現年分	428,152,400	427,835,700	1,030,500	1,347,200	99.68	0
	滞納繰越分	2,077,350	1,074,700	0	1,002,650	51.73	181,250
	合計	430,229,750	428,910,400	1,030,500	2,349,850	99.45	181,250
瀬戸内市	現年分	420,555,600	419,713,100	417,000	1,259,500	99.70	0
	滞納繰越分	2,680,082	977,908	0	1,702,174	36.48	125,400
	合計	423,235,682	420,691,008	417,000	2,961,674	99.30	125,400
赤磐市	現年分	511,907,600	512,617,643	1,986,300	1,276,257	99.75	0
	滞納繰越分	2,107,015	988,139	0	1,118,876	46.89	31,100
	合計	514,014,615	513,605,782	1,986,300	2,395,133	99.53	31,100
真庭市	現年分	471,517,400	471,915,500	830,300	432,200	99.90	0
	滞納繰越分	889,280	466,450	8,600	431,430	51.48	37,200
	合計	472,406,680	472,381,950	838,900	863,630	99.81	37,200
美作市	現年分	282,984,600	281,592,400	364,800	1,757,000	99.37	0
	滞納繰越分	3,127,500	1,276,300	0	1,851,200	40.80	280,300
	合計	286,112,100	282,868,700	364,800	3,608,200	98.73	280,300
浅口市	現年分	444,072,900	443,588,680	593,000	1,077,220	99.75	0
	滞納繰越分	3,136,686	1,876,086	0	1,260,600	59.81	56,400
	合計	447,209,586	445,464,766	593,000	2,337,820	99.47	56,400

市町村名		調定額 A 円	収納額 B 円	還付未済額 C 円	収入未済額 A-(B-C) 円	収納率 (B-C)/A %	不納欠損額 円
和 気 町	現 年 分	172,472,400	172,495,500	314,800	291,700	99.83	0
	滞納繰越分	766,400	318,200	0	448,200	41.51	159,000
	合 計	173,238,800	172,813,700	314,800	739,900	99.57	159,000
早 島 町	現 年 分	148,379,000	148,126,600	57,200	309,600	99.79	0
	滞納繰越分	1,083,080	175,521	0	907,559	16.20	315,700
	合 計	149,462,080	148,302,121	57,200	1,217,159	99.18	315,700
里 庄 町	現 年 分	129,667,900	128,995,800	3,100	675,200	99.47	0
	滞納繰越分	39,500	39,000	0	500	98.73	0
	合 計	129,707,400	129,034,800	3,100	675,700	99.47	0
矢 掛 町	現 年 分	171,004,600	170,727,000	63,000	340,600	99.80	0
	滞納繰越分	414,100	365,600	0	48,500	88.28	0
	合 計	171,418,700	171,092,600	63,000	389,100	99.77	0
新 庄 村	現 年 分	7,940,400	7,946,200	5,800	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	-1,400	0	1,400		0
	合 計	7,940,400	7,944,800	5,800	1,400	99.98	0
鏡 野 町	現 年 分	116,726,100	116,610,800	1,100	116,400	99.90	0
	滞納繰越分	267,300	125,700	0	141,600	47.02	44,000
	合 計	116,993,400	116,736,500	1,100	258,000	99.77	44,000
勝 央 町	現 年 分	94,747,200	94,429,400	54,400	372,200	99.60	0
	滞納繰越分	552,400	500,600	2,000	53,800	90.26	0
	合 計	95,299,600	94,930,000	56,400	426,000	99.55	0
奈 義 町	現 年 分	55,059,300	55,070,300	21,700	10,700	99.98	0
	滞納繰越分	163,800	116,200	0	47,600	70.94	0
	合 計	55,223,100	55,186,500	21,700	58,300	99.89	0
西 栗 倉 村	現 年 分	11,699,800	11,699,800	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	0	0	0		0
	合 計	11,699,800	11,699,800	0	0	100.00	0
久 米 南 町	現 年 分	58,374,600	58,339,900	58,100	92,800	99.84	0
	滞納繰越分	208,600	75,700	0	132,900	36.28	86,100
	合 計	58,583,200	58,415,600	58,100	225,700	99.61	86,100
美 咲 町	現 年 分	147,703,000	148,928,000	1,625,100	400,100	99.72	0
	滞納繰越分	685,904	663,460	70,900	93,344	86.39	0
	合 計	148,388,904	149,591,460	1,696,000	493,444	99.66	0
吉 備 中 央 町	現 年 分	102,655,200	102,659,800	228,500	223,900	99.78	0
	滞納繰越分	303,000	40,100	0	262,900	13.23	0
	合 計	102,958,200	102,699,900	228,500	486,800	99.52	0
合 計 ( I )	現 年 分	20,606,858,900	20,561,589,338	29,788,860	75,058,422	99.63	38,800
	滞納繰越分	181,342,065	78,622,338	517,599	103,237,326	43.07	24,982,902
	合 計	20,788,200,965	20,640,211,676	30,306,459	178,295,748	99.14	25,021,702
【参考】 令和元年度 合計(Ⅱ)	現 年 分	19,906,890,300	19,844,646,057	30,592,920	92,837,163	99.53	0
	滞納繰越分	181,321,018	70,567,927	218,376	110,971,467	38.79	21,329,593
	合 計	20,088,211,318	19,915,213,984	30,811,296	203,808,630	98.98	21,329,593
差引増減 (Ⅰ-Ⅱ)	現 年 分	699,968,600	716,943,281	△ 804,060	△ 17,778,741	0.10	38,800
	滞納繰越分	21,047	8,054,411	299,223	△ 7,734,141	4.28	3,653,309
	合 計	699,989,647	724,997,692	△ 504,837	△ 25,512,882	0.16	3,692,109

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳出決算状況

区 分		令和2年度 A	令和元年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		279,664,555,000円	282,107,725,000円	△2,443,170,000円
支 出 済 額		279,606,722,605円	282,097,202,822円	△2,490,480,217円
執 行 率		99.98%	100.00%	△0.02%
翌 年 度 繰 越 額	継 続 費 通 次 繰 越	0円	0円	0円
	繰 越 明 許 費	0円	0円	0円
	事 故 繰 越 し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予 算 現 額 対 する 比 率	0.00%	0.00%	0.00%
不 用 額		57,832,395円	10,522,178円	47,310,217円

支出済額は2,796億672万2,605円で、前年度に比べ24億9,048万217円減少している。

予算現額2,796億6,455万5,000円に対し、99.98%の執行率となっている。

また、不用額は5,783万2,395円で、前年度に比べ4,731万217円の増加となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款・項	令和2年度					令和元年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額 円	支出済額 A 円	執行率 %	翌年度 繰越額 円	不用額 円		
総 務 費	877,393,000	877,377,760	100.00	0	15,240	800,006,288	77,371,472
保 険 給 付 費	261,013,532,000	261,013,529,723	100.00	0	2,277	269,162,015,172	△ 8,148,485,449
特別高額医療費 共同事業拠出金	119,574,000	119,572,740	100.00	0	1,260	102,811,194	16,761,546
保 健 事 業 費	327,309,000	327,309,000	100.00	0	0	337,469,000	△ 10,160,000
基 金 積 立 金	11,994,401,000	11,937,536,103	99.53	0	56,864,897	5,479,620,524	6,457,915,579
諸 支 出 金	5,331,846,000	5,331,397,279	99.99	0	448,721	6,215,280,644	△ 883,883,365
うち被保険者還付金	33,567,000	33,514,728	99.84	0	52,272	25,838,238	7,676,490
うち国庫負担金等償還金	5,297,729,000	5,297,728,651	100.00	0	349	6,189,201,706	△891,473,055
予 備 費	500,000	0	0.00	0	500,000	0	0
計	279,664,555,000	279,606,722,605	99.98	0	57,832,395	282,097,202,822	△ 2,490,480,217

支出総額は2,796億672万2,605円で、この主なものは保険給付費、翌年度における精算のための基金積立金、前年度精算のための償還金である。

支出総額の内、増加の主な要因については、基金積立金が主に翌年度における精算のため 64 億 5,791 万 5,579 円増加したものである。支出総額の内、減少の主な要因については、保険給付費が新型コロナウイルス感染症の影響により 81 億 4,848 万 5,449 円減少したものである。

不用額の主なものは、基金積立金などである。

保健事業については、被保険者の健康保持増進のため策定したデータヘルス計画を基本とし、その目標達成のため市町村との協力・連携を深め、より効果的かつ効率的な事業の実施を図られたい。

療養諸費の状況は次表のとおりである。

#### 療 養 諸 費 の 状 況

年度	療養諸費額 A 円	前年度比 %	年間平均 被保険者数 B 人	療養諸費 件数 C 件	一人当たりの 療養諸費	
					$\frac{A}{B}$ 円	$\frac{C}{B}$ 件
H29	242,776,800,885	103.35	281,606	8,212,539	862,115	29.16
H30	247,794,962,996	102.07	287,535	8,381,875	861,791	29.15
R元	256,441,996,023	103.49	293,938	8,612,444	872,436	29.30
R2	248,301,953,577	96.83	297,093	8,272,863	835,772	27.85

注)「療養諸費額」は、入院時療養費や療養費を含む「療養給付費」、「訪問看護療養費」及び「移送費」の合計額。  
(※「審査支払手数料」除く)

高額療養諸費の状況は次表のとおりである。

#### 高 額 療 養 諸 費 の 状 況

年度	高額療養諸費額 A 円	前年度比 %	年間平均 被保険者数 B 人	高額療養 諸費件数 C 件	一人当たりの 高額療養諸費	
					$\frac{A}{B}$ 円	$\frac{C}{B}$ 件
H29	10,770,135,669	100.06	281,606	572,266	38,245	38,245
H30	10,568,427,962	98.13	287,535	524,245	36,755	36,755
R元	11,265,833,987	106.60	293,938	538,916	38,327	38,327
R2	11,279,688,434	100.12	297,093	528,573	37,967	37,967

(注)「高額療養諸費額」は、「高額療養費」と「高額介護合算療養費」の合計額。

高額療養諸費額が前年度比 100.12%と前年とほぼ同額となった。

保健事業費の状況は次表のとおりである。

保健事業による健康診査の受診状況

年度	対象者数 A	受診者数 B	受診率 B A	受診率の増減 %
	人	人	%	
H29	262,454	36,796	14.02	0.40
H30	264,982	37,563	14.18	0.16
R元	271,287	39,498	14.56	0.38
R2	277,061	36,942	13.33	△ 1.23

(注1)「対象者数」は4月1日現在の被保険者数から受診対象外者を引いた数。

(注2)「受診者数」は個別健診、集団健診の合計。

(注3)「対象者数」は生活習慣病通院者等を含めた数。

【参考】各市町村健診受診者数の状況

市町村名	被保険者数 (4月1日被保険者数) 人	対象者数 人	集団健診			個別健診			受診者数計 人	受診率 %
			課税 人	非課税 人	小計 人	課税 人	非課税 人	小計 人		
1 岡山市	93,690	91,937	4	3	7	10,883	1,104	11,987	11,994	13.05
2 倉敷市	66,591	65,421	1,939	567	2,506	3,172	2,037	5,209	7,715	11.79
3 津山市	16,308	14,678	109	50	159	1,614	998	2,612	2,771	18.88
4 玉野市	11,737	11,480	7	0	7	987	140	1,127	1,134	9.88
5 笠岡市	9,529	9,378	467	201	668	256	156	412	1,080	11.52
6 井原市	8,321	8,321	35	54	89	341	852	1,193	1,282	15.41
7 総社市	9,722	9,031	349	0	349	344	0	344	693	7.67
8 高梁市	7,094	6,991	68	42	110	48	26	74	184	2.63
9 新見市	7,055	6,211	483	253	736	142	83	225	961	15.47
10 備前市	7,255	6,820	16	6	22	1,103	628	1,731	1,753	25.70
11 瀬戸内市	6,524	6,023	147	56	203	338	122	460	663	11.01
12 赤磐市	7,280	7,584	0	0	0	242	95	337	337	4.44
13 真庭市	9,661	9,268	143	68	211	1,541	756	2,297	2,508	27.06
14 美作市	6,196	6,046	0	0	0	292	231	523	523	8.65
15 浅口市	6,903	469	52	15	67	67	12	79	146	31.13
16 和気町	3,016	1,649	0	0	0	278	164	442	442	26.80
17 早島町	1,814	1,765	193	46	239	37	12	49	288	16.32
18 里庄町	1,836	1,757	281	56	337	0	0	0	337	19.18
19 矢掛町	3,021	1,497	305	104	409	0	0	0	409	27.32
20 新庄村	245	220	0	0	0	1	16	17	17	7.73
21 鏡野町	2,598	2,379	104	73	177	168	172	340	517	21.73
22 勝央町	1,811	1,673	0	0	0	88	134	222	222	13.27
23 奈義町	1,088	1,072	130	57	187	25	4	29	216	20.15
24 西粟倉村	292	301	0	0	0	8	4	12	12	3.99
25 久米南町	1,234	1,215	71	72	143	0	0	0	143	11.77
26 美咲町	3,192	3,191	191	330	521	0	0	0	521	16.33
27 吉備中央町	2,546	684	13	23	36	16	22	38	74	10.82
合計(I)	296,559	277,061	5,107	2,076	7,183	21,991	7,768	29,759	36,942	13.33
R元年度実績(II)	291,492	271,287	6,971	3,244	10,215	22,048	7,235	29,283	39,498	14.56
増減(I-II)	5,067	5,774	-1,864	-1,168	-3,032	-57	533	476	-2,556	-1.23

#### 4 財産に関する調書

令和2年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

本年度末における公有財産はなく、本年度中の異動はない。

(2) 物品

本年度末における取得金額100万円以上の物品は3点で、本年度中の異動はない。

(3) 債権

本年度末における債権はなく、本年度中の異動はない。

(4) 基金

本年度末における基金は、前年度末より、岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金が31万427円の増加、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療給付費準備基金は27億6,186万4,705円増加している。増加した主な要因は、令和元年度国・県支出金の精算に伴う返還分の基金からの取崩が出納整理期間中の4月となったことによるものである。

基金名	令和元年度末 現在高	令和2年度中 増減	令和2年度末 現在高
岡山県後期高齢者医療広域連合 財政調整基金	10,454,005	310,427	10,764,432
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療給付費準備基金	6,819,545,557	2,761,864,705	9,581,410,262
計	6,829,999,562	2,762,175,132	9,592,174,694

## 5 むすび

令和2年度の決算審査の概要は以上のとおりである。

### ○ 決算規模・実質収支について

決算規模は一般会計、特別会計を合わせた総額で、歳入2,797億3,873万円、歳出2,796億7,574万円となり、前年度に比べ歳入は24億4,373万円、歳出は24億9,588万円それぞれ減少している。

また、本年度の決算収支をみると、形式収支（歳入歳出差引額）は、一般会計で320万円の黒字、特別会計で5,978万円の黒字となっており、実質収支も同額の黒字決算となっている。

### ○ 歳入の状況について

予算現額に対する歳入決算額の割合は、一般会計で100.00%、特別会計で100.00%となっている。また、調定額に対する割合は一般会計で100.00%、特別会計で100.00%となっているが、特別会計において、返納金の収入未済額が約1,187万円生じているので、その解消に努められたい。

さらに、市町村における保険料の収納率は、現年分と滞納繰越分を合わせて99.14%で前年度比0.16%上昇しており、1億7,830万円の収入未済額が生じている。保険料の収納額は前年度に比べ7億2,500万円増加しており、収入未済額は前年度に比べ2,551万円減少している。財政の健全化と被保険者間の公平性を保つためにも、引き続き市町村と連携を図りながら収納対策に取り組むことが重要である。

### ○ 歳出の状況について

予算現額に対する歳出決算額の割合は、一般会計で95.56%、特別会計で99.98%となっており、一般会計で320万円、特別会計で5,783万円の不用額が生じている。

特別会計の歳出決算においては、主たるものが保険給付費であり、この保険給付費は前年度と比較して81億4,849万円減少している。保険給付費減少の主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響によるものである。しかしながら、今後も高齢化の進展に伴う被保険者数の増加に伴い医療給付費の増加が見込まれるため、医療費の適正化に継続して努める必要がある。

### ○ 今後の運営について

平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設され12年が経過したが、制度開始時の被保険者数約23万7千人から、令和2年度末では約29万7千人と約6万人も増加している。さらに、「団塊の世代」が全て75歳以上となる令和7年度に向け、被保険者数の増加が見込まれ、被保険者数の増加に伴う医療給付費の増嵩により、厳しい事業運営を強いられることが懸念される。

また、医療費窓口負担割合について、一定の収入がある被保険者の窓口負担を2割に引き上げる医療制度改革関連法が成立した。被保険者に対し混乱や不安を招かぬよう、広域連合として、市町村等の関係機関と連携を密にし、十分な周知、広報及び丁寧な説明に努められたい。

高齢者の健康寿命の延伸を図るため、令和2年度より実施している「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」においても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じつつ、効果的な高齢者保健事業に向け、広域連合においても、市町村や関係医療機関等と連携を一層密にしながら取り組まれたい。

今後とも、国の動向や社会情勢を的確に把握した予算編成を行い、計画的な資金収支に留意して確実かつ効果的な運用に努め、被保険者が安心して医療を受けることができるよう鋭意努力されたい。